

平成 20 年 1 月 11 日（金）
愛知県環境部大気環境課地球温暖化対策室
温暖化対策グループ

愛知県体育館の ESCO（エスコ）事業提案の審査結果について

地球温暖化対策の一環として、県では本年度、県有施設の省エネ化を専門事業者に一括して委託する ESCO 事業を愛知県体育館（名古屋市中区）に導入することとし、去る 11 月 6 日から ESCO 事業提案の公募を行いました。

これに対し、次のグループから ESCO 事業の提案があり、12 月中旬に学識経験者等で構成する「愛知県 ESCO 事業提案審査委員会」で審査し、この提案を採択することとしました。

提案事業者 株式会社シーエナジー（代表者）グループ

1 背景・経緯

本県では、地域における総合的な地球温暖化対策を推進するため、平成 17 年 1 月に「あいち地球温暖化防止戦略」を策定し、先進的・先導的な取組の一つとして「省エネ ESCO 作戦」を掲げております。さらに、県の事務事業から排出される温室効果ガスの削減のため、「愛知県庁の環境保全のための行動計画（あいちアクションプラン）」を平成 17 年 10 月に改定し、県有施設において ESCO 事業を推進することを盛り込みました。

今回の提案募集は、これらの戦略・計画に掲げた施策の具体化のため、平成 17 年度に実施した「省エネ診断・ESCO 導入可能性調査」において ESCO 事業の導入による省エネルギー効果があると判断された愛知県体育館を対象として行ったものです。

2 選定された ESCO 事業提案の概要

提案事業者	(株)シーエナジー(代表者)、(株)トーエネック
提案の概要	省エネルギー率 3.21% CO ₂ 削減率 3.09% 光熱水費削減額(消費税込) 1,573.4 千円 / 年 契約期間 15 年 主な省エネルギー手法 ・空調の運転開始時のウォーミングアップ制御 ・高効率型照明機器への更新 評価点数(285.84 点 / 360 点満点)

3 今後の予定

予算化されれば、今後、提案者と正式契約に向けた詳細協議を行う予定です。

(参考) E S C O事業提案募集の概要

【共通事項】

募集する提案の概要	施設の省エネルギー改修に係る設計・施工、資金計画、運転管理及び維持管理等に関する一括提案
選定 ESCO 事業者が行う業務の範囲	<ol style="list-style-type: none"> 1 省エネルギー改修に係る設計、施工、工事監理及びその関連業務 2 ESCO 契約期間内における本県への ESCO 設備を用いた ESCO サービス提供業務 3 ESCO 契約期間内における ESCO 設備の運転及び維持管理業務 4 ESCO 契約期間内における既存設備を含めた運転管理指針作成業務と、それに基づく助言業務 5 ESCO 契約期間内における省エネルギー計測・検証業務 6 ESCO 契約期間内における光熱水費削減の保証業務 7 ESCO 契約期間終了後、本県の要求があった場合における、ESCO 設備の所有権移転業務
応募資格	<p>ESCO 事業を行う能力を有する単独の企業あるいはグループ(複数の企業の共同)で以下の役割を全て担うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業役割・・・契約等諸手続を行い事業遂行の責を負う。 <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー保証を伴う ESCO 事業の実績があり(事業役割を担う応募者が複数である場合は、少なくとも1社が満たすこと)、経営等の状況が良好であること。 ・事業運営、維持管理を円滑に行うための拠点を愛知県内に有すること。 2 設計役割・・・設計及び監理に関する業務をすべて実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・一級建築士、建築設備士、技術士(建設、電気・電子、機械、環境又は衛生工学)若しくはエネルギー管理士(熱又は電気)のいずれかの資格を持つ者が所属すること。 3 建設役割・・・建設に関する業務をすべて実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・建設業法に基づく電気又は管工事に係る監理技術者資格者証を持つ者が所属すること。 ・提案内容に該当する項目の特定建設業の許可を受けた者。 ・本県の競争入札参加資格者名簿に登録されていること。

【個別事項】

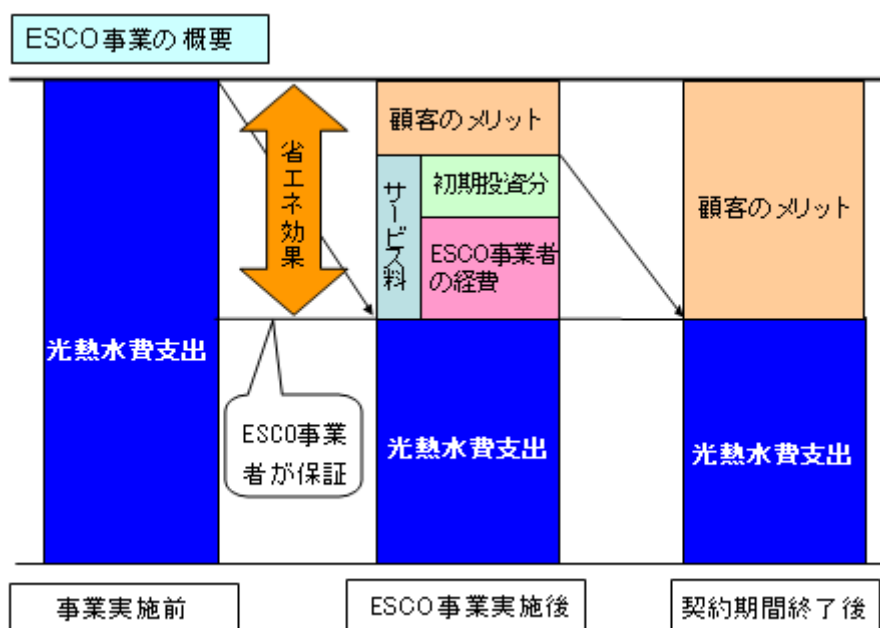
提案募集件名	愛知県体育館 E S C O 事業
提案募集に係る施設の所在地及び概要	<p>所在地: 名古屋市中区二の丸1番1号 延床面積: 17,240.67m² 建築構造(竣工年): 第一競技場 / SRC 構造、地上3階 地下1階(昭和39年) 第二競技場 / SRC 構造、地上2階(昭和39年) 光熱水費: 約75,548千円 / 年度(平成16年度～18年度平均)</p>

参考 1

ESCO事業の仕組み

ESCO(Energy Service Company)事業とは、建物の電気設備等の省エネ化を資金調達から設計・施工、維持・管理、及び省エネ効果の計測・検証まで一括して請け負い、省エネによる経費節減分を発注者とESCO事業者が分配する仕組みです。

市場原理を利用した有効な温室効果ガス(二酸化炭素)削減対策であり、有望な省エネビジネスとして期待されています。



民間資金活用型ESCO事業：

- ・ESCO事業者が省エネ改修の設備投資を行う。
- ・ESCO事業者は発注者(県)に対し省エネ改修による光熱水費の削減額を保証し、発注者(県)は実現する光熱水費の削減額から一定割合をESCO事業者を支払う。

ESCO事業の方式には、この他に、発注者(県)側が省エネ改修の設備投資を行う「自己資金型」がある。「民間資金活用型」は、発注者が初期投資を行う必要がないことから、発注者の財政事情に関わりなく、大きな省エネ工事が実施できるというメリットがある。

参考2

愛知県 ESCO 事業提案審査委員会委員名簿

(敬称略)

氏名	所属等
伊藤 純一	愛知県教育委員会学習教育部体育スポーツ課主幹
猪岡 達夫	中部大学工学部教授 空気調和・衛生工学会 省エネルギー委員会副委員長
佐野 正人	佐野公認会計士事務所 代表
中原 信生	名古屋大学名誉教授 NPO 法人 建築設備コミッション協会理事長 環境システック中原研究処 代表
古田 精宏	愛知県環境部地球温暖化対策監
柳葉 博	財団法人省エネルギーセンター 東海北陸支部 事務局長
山田 隆俊	愛知県体育館副館長

印は審査委員長